

- G 7 各国が生産年齢人口の鈍化（減少）に直面する中、「人」の重要性はますます高まっている。
- 人的資本に注目して経済活力を維持していくことは、G7諸国に共通の課題である。
- 社会・経済の変化に即した人的資本投資と、性別や年齢等に関わらず本人の意欲・能力に応じて活躍できる環境の整備が重要である。

<大臣会合の概要>

- 日程：2023年4月22日（土）・23日（日）
- 開催地：岡山県倉敷市
- 会場：倉敷アイビースクエア

倉敷市は、1921年に労働衛生に関する民間の研究機関である倉敷労働科学研究所が設立されるなど、早くから働く人に着目した取組が進められてきた街であり、労働政策の議論を行うにふさわしい開催地であると考えている。



倉敷アイビースクエア
(主会場予定地)



倉敷美観地区

<議題（案）>

人的資本への投資

論点（案）

- 1 労働市場のレジリエンスの涵養
 - ・ポストコロナや現下の課題に対応した労働市場政策
 - ・デジタル化、グリーン化による産業構造変化への対応と人的資本への投資
- 2 包摂的な労働市場の整備
- 3 ワーク・エンゲージメントの向上と
ディセント・ワークの推進